

基本目標

「こども」分野
未来を拓く大野っ子が健やかに育つまち



子どもは、大野の宝です。^{大野の未来を拓く}市の将来を担う子どもたちが健やかに成長し、自分の夢^{や希望}を持てるような社会が望まれます。その実現に向け、「大野っ子」が、優しく、賢く、たくましい「大野人」に成長するよう、あらゆる成長過程において、家庭や地域、学校、行政などが連携して子どもの育ちを支えていくことが重要です。

家庭や地域、
学校など

社会全体
で

このため、^{さらに}「学校での教育環境の充実に努め、子どもたちが確かな学力を身につけるとともに、時代に沿った新たな教育やふるさとを学ぶ教育などにも取り組み、自分の夢に挑戦する力や故郷への誇りと愛着を持つ心を育みます。」^に ^(育む) ^{む事で}

また、^{まず}「大野らしい子育てや教育により、若い世代が「結婚・子育てをするなら大野市で」と思えるよう、働きながら子育てができる環境づくりを進めるとともに、子育ての悩みや子どもに関わる様々な^{不安や} ^{など}困りごとなどに対する相談・支援体制の充実、地域で子どもを見守る体制づくりに努めます。」^{フイキ}

基本目標

「健幸福祉」分野 健康で自分らしく幸せに暮らせるまち



健康でなくなってしまう人の幸せは？

「幸せ」は
消えてもいい
・元々あった幸せ
・元々なかった幸せ
・元々あった幸せ
・元々なかった幸せ

より健康
で暮らしても
地域で暮ら
せてくれる
幸せに暮らせる

人生100年時代を迎える中、市民の健康寿命を延ばすことにより、生涯健康で活躍できる社

会が実現します。これに向け、子どもからお年寄りまでの全ての世代において、心身ともに健
やかで、生き生きと自分らしく幸せに暮らせるよう支援していくことが重要です。

健康寿命の延伸だけでなく実現するの？

生き

地域

すことができ
るよう

このため、健康づくり活動やスポーツ活動を促進するとともに、高齢者に対しては介護予防

市民の

いらぬのは？

普及

や障がい者

事業の充実などにより、元気で生きがいを持って活躍できる環境づくりを推進します

全ての人

介護予防は
次の施策と
入れ替え

また、病気の早期発見・早期治療によって重症化させないように取り組むと、誰もが安
心して地域で受診できるよう地域医療体制の充実を目指します。

生活習慣
病の予防

高齢者と
支える仕組
作り

さらに、地域のあらゆる人々がお互いに支えあう地域共生社会(※1)の実現に取り組めます。

地域の
生活・福祉
課題の解決
にむけて

障がいのあつ
てもない人も

障害者(人)

基本目標

「地域経済」分野

歴史・風土と新たな強みを生かした活力あるまち



中部縦貫自動車道の県内全線開通や北陸新幹線の敦賀開業により、中京圏との結びつきがこれまで以上に強くなり、人の交流や物流の拡大が見込まれます。また、日本全体でAI(※2)、IoT(※3)を活用することでSociety 5.0(※4)の実現に向けた取り組みが進められるなど、本市を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。

この環境の変化を大きなチャンスと捉え、その効果を最大限高めるために、大野の商品、農林産物をはじめとする地域資源の磨き上げを行うとともに、これらの魅力の発信により、道の駅を拠点とした販売力の向上と、道の駅と結ステーションとの連携による周遊性の強化に努めます。

また、商工業、観光業、農林水産業など全ての産業において、新たな価値の創造と業務の効率化を図るため、AIやIoTを積極的に活用することを促進します。

さらに、後継者の育成や労働力の確保、働く人が生き生きと働くことのできる環境づくりを進めるとともに、若者が魅力を感じる職場づくりや新たな働く場の創出の支援に取り組むことで、地域経済の持続的な成長、発展を図ります。

基本目標

「くらし環境」分野
豊かな自然の中で快適に暮らせるまち



大野の豊かな自然環境は、先人から受け継がれてきた何ものにも代えがたい財産です。美しい^{山々や}山々^や河川、田園風景、清らかな地下水は、生活に安らぎと彩りを与えてくれるものでもあり、一人一人の力を合わせて守り続けていかなければなりません。

一方、少子化、高齢化が進む中、生活環境の利便性の向上^{より快適な}に向けた^有開発^{整備}も重要であり、自然環境と調和しながら、誰もが安全、安心で快適に暮らすことができる持続可能なまちづくりが必要です。

このため、大野の豊かな自然環境を守るための活動や、二酸化炭素の排出抑制、ゴミの減量化などに取り組むことにより、環境にやさしい循環型のまちづくりを進めることに努めます。

また、安全、安心な生活環境の礎となる道路や橋梁、上下水道などの社会インフラの適切な整備と保全を行うことに加え、雪国の暮らしを支える地域での取り組みや、交通手段の確保などに市民と^{移動手段の確保や、雪国特有の課題解決}共に取り組むことで、いつまでも豊かな自然の中で快適に暮らすことのできるまちづくりに努めます。

基本目標

「地域づくり」分野 みんながつながり合い地域が生き生きと輝くまち



人口減少や少子化、高齢化、生活様式の変化などにより、地域における担い手不足が深刻な問題となっており、それに伴い人間関係の希薄化や地域活動の低迷ひいては地域コミュニティの維持そのものが懸念されています。

これらの解決には、これまで大切にしてきた「結」の心をあらためて見つめ直し、強い市民力・地域力を取り戻すことが重要です。

このため、これまでも地域づくり活動の拠点となってきた公民館の機能を強化し、世代間交流の促進や地域活動の活性化を図ります。

また、若者の地域活動への参加や自主的な活動を支援したり移住者を積極的に受け入れたりすることで、将来の地域を担う人材の確保と育成に努めるとともに、関係人口の創出・拡大に取り組み、地域と関わる多様な人材との連携を図ります。

さらには、防災力・防犯力の強化や空き家・空き地の発生防止と利活用、伝統文化の継承なども、地域における重要課題として位置付けて取り組んでいきます。

また、防災力・防犯力の強化、伝統文化の継承など、地域との関係が強い施策についても、一体的に取り組むことで、地域におけるあらゆる課題の解決につなげていきます。

つながり合い
いらない

担い手不足
原因で
はく並列

によって

必要な
組織
も維持
したい

助け合い
支え合い
いばり

文章長くて
わかりにくい

公民館に
頼り切るレ
イの意味
ではなし

中心に

大野を出た
若者が
もって来り
欲しい

関係人口を
創出することで
移住者が
増える

適正な管理

文化的
遺産

基本目標

「行政経営」分野 結の人とまちを持続的に支える自治体経営



人口減少や^{再移}超高齢化が急速に進む中、限られた資源を最大限に生かし、将来像の実現に向けて果敢にチャレンジしていくためには、将来にわたって持続可能な行財政運営が必要です。

このため、「経営管理」の観点に立ち、^{この事業が適切な？}職員の資質向上や横断的な組織づくりに加え、^{効率化}公共施設の統廃合や長寿命化、^行AIやRPA(※5)など次世代技術の導入などによる行政運営の効率化をさらに進めるとともに、[?]事務事業の見直しや収支の適正化などによる財政運営の健全化により一層努めます。

また、まちづくりには市民に開かれた市政運営も不可欠であることから、^{相互に}市民協働をさらに推進しながら、^{さまざま}様々な媒体を活用して市民と市政情報を共有するとともに、若者や女性など幅広い層の意見^{なげ}を聞く場を^{市民とともに}設け、^{を速めていきます。}市民の声を積極的にまちづくりに生かしていくことに努めます。

さらには、持続可能なまちづくりに官民一体となって取り組むための指針として、SDGs(※6)を推進していきます。